

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和2年度第1回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和2年5月18日(月) 午後3時～5時
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏（リモート） 閑念勝代、古家幹也
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	松尾寛子
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 笹倉邦好 教育部長 森脇達也 幼保連携課長 正木万貴子 幼保連携課主査 藤原敬章 幼保連携課（幼児教育センター）藤原幸恵 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳 学校教育課教育研究室主幹兼室長 衣川正昭
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 令和元年度『自己評価』こども園実施報告について (2) 令和2年度就学前教育推進事業について (3) その他
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は4名（内2名はリモート） （資料確認）
教育長	2 あいさつ
事務局	この後の進行は、委員長にお願いいたします。
委員長	3 議事 (1) 令和元年度『自己評価』こども園実施報告について

事務局	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>～令和元年度『自己評価』こども園実施報告について説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 アンケート結果</li> <li>・資料2 報告書</li> <li>・各園の報告時の様子や次年度の自己評価への意見 等</li> <li>・資料3</li> </ul> <p>(欠席委員からの意見を代読)</p> <p>訪問園のアンケートに、『(助言を受け) 一度保育室を変えてみたが元に戻った』というのがありました。先生方に保育室の使い方などを自分なりに伝えましたが、今の園のやり方になっているには理由があるということも踏まえつつ、先生方の意見も十分に伺いつつ、両者で新たなやり方を模索していく必要があると感じました。</p>
委員長	<p>資料1 アンケートを見ると、概ね「大変良かった」「よかった」という評価が多いと思います。手応えとしてはいかがでしたか。</p>
事務局	<p>園に訪問した様子だと前向きに取り組まれているように思います。ただ園長会等の場になるとちょっとしんどいよねというように戻ってしまう所があります。</p>
委員長	<p>今後もしばらく継続していくのですが、先ほどの意見のように現場の方々にとどのようにアプローチしていけばよいかとか、良かれと思って言ったことがうまく伝わらず、受け止め方で変わってくるということもありますので、それをまた今年度、少しずつより良い方向に向けてやっていければと思います。その他、質問や確認したいこと等がないようでしたら、次に進みたいと思います。</p>
事務局	<p>(2) 令和2年度就学前教育推進事業について 事務局から説明をお願いします。</p> <p>～令和2年度就学前教育推進事業について説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4 1年間のスケジュール</li> <li>・資料5 「保育に活かす自己評価」という考え方</li> <li>・資料6 食育・アレルギー対応 (案)</li> </ul>

<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料7 自己評価グッドサンプル（年齢別）（案）</li> <li>・資料8 質問様式</li> </ul> <p>事務局から説明をいただきましたが、いくつか意見を整理し共通理解をしていきたいと思えます。</p> <p>一旦ここで前提として、少し押さえておきたいのですが、今年度スケジュールにある第1回目の訪問は、新型コロナの第2波がきていないという前提で考えさせていただければと思えます。第2波がきてまた緊急事態宣言が出たりするとまたどうするかを考えないといけないと思えますが、それは後程の議論にしたいと思えます。</p> <p>自己評価の観点で、今年度は養護と5領域の6項目を記入する中で、A園の園長から意見のあった良い所だけを6項目書いていくのか、課題と思う所も書いていくのかについて意見交換して調整しておかないといけないと思っています。私自身は、個人的には、この6項目は良い所を中心に書いていただくということでもいいと思えますが、その一方で、単なる自己満足になってしまっているといけないので、良い所ばかり6つ書くということの難しさもあると思えますし、課題についても書きたいという園もあると思えますが、委員の意見はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>基本的に自己評価は良い所を伸ばすというのが基本理念でいいと思えますが、どうしてもここを取組みたいという所もあると思えますので、6つあるとしたら1つか2つは課題というかチャレンジしたいことという感じで書いていただくのがいいのではないと思えます。基本は4つか5つは良い所を出してほしい。気持ちも軽くなるし、前向きになれると思えますのでそんな感じでいかがでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>評価のことについて小学校でも取組まれていると思えますが、小学校の視点や特別支援の視点を含めて、良い所を中心に書くか等ご意見いただければと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>学校でももちろん自己評価をしておりますが、良いことばかり6つと言われると正直しんどいですね。子どもでしたら褒めて伸ばすというか、「こんなことで良かったね、頑張ったね」というと子どもは伸びていくのですが、自分たちの活動を1年間振り返った時に、やはり課題はもつべきじゃないと思えます。6つの項目の中</p>

<p>委員</p>	<p>に1つや2つは課題があってもいいのではないかと思います。</p> <p>特別支援の観点からお話させてもらおうと、評価の書き方によっては分かりにくい、実態がつかめない所もあるので、その点からいうとやはり困っている所とかが入ってくると、アドバイスやこれからどうしていったらいいかという面も見えてくるかと思います。頑張られている所は去年もよく出てきていたと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の方向性から考えると、改めて良い所も書くけれど、6つ全て良い所を書くというのではなく、課題意識をもって取り組む。ただ、課題意識ばかりだと現場の先生方はしんどくなってしまうので、課題という言葉はチャレンジと捉えてもらい、今年度力を入れてチャレンジしていきたい内容を1項目か2項目入れていってもらってもいいのかなと思います。</p> <p>委員が言われた先生方の困り感、評価の中に書くのか、質問シートの方で書くのか、書き分けや工夫が必要なのではないかと思います。</p> <p>次に、資料7グッドサンプルを作っていただきましたが、実はグッドサンプルというネーミングは変えたほうがいいと思っています。趣旨は、書き方が難しいというご意見があったので、こんな書き方をするといいし、ポイントはこういうことですよということが学年ごとに分かたらいいだろう。せつかく昨年度、各園でたくさん書いていただいたものがあるので、その中から見本になりそうな、こういう書き方をすれば自分でも書けそうというものを先生方が目を通してもらえれば、少しでも書きやすくなるのではないのでしょうか。ゼロから文章を作るとなったら、昨年特に難しかったと思いますので、少しこういうことを手掛かりに考えていただいたらいいのではないかと思います。事務局に提案させていただきました。ただその時に私が使ったグッドサンプルという名称になっていますが、書き方見本とか書き方サンプルというような形でいただければと思います。ネーミングとこの表を見ながら記入のポイントや取組の状況等、概ねこれでいいか、今細かく精査は難しいと思いますので、ざっくり見ていただいて、気になった点などご意見いただきたいと思います。</p> <p>事務局に確認ですが、このグッドサンプルを各園に配布するとしたらどのタイミングになりますか。</p>

事務局	<p>予定としては早い方が、書くにも時間がかかると思うので、ここで確認してもらって大丈夫であれば、最速で5月21日（木）の主任会で説明を行い、5月末から各園を訪問した時に各担任にはかり、園長には6月の園長会でお渡しする予定です。</p>
委員長	<p>各委員が見られて気になる点がありましたら、今日明日中に事務局に送っていただければと思います。</p> <p>昨年度より現場の先生方もすこし書きやすくなるでしょうし、書く時の不安感も少し軽減されると思います。今年度は、これを現場の先生方に使ってみていただいて、それでもまだ難しいというご意見が出てくれば、また次年度に向けてこちらでも改善していければと思います。</p>
事務局	<p>1点確認していただきたいことがあるのですが、「後期に向けての取組の方策」に関してですが、語尾を※で「～していく」「～する」とこちらで直しました。というのが、「～した」という助言を受けてこんなことをしたという所で過去形というか「こう言われたからこうした」という園も多かったのですが、そこを「～した」で終わるのではなく継続して続けていくという所があるかなということで全て「～していく」「～する」と直しました。これについてご意見をいただきたいと思います。</p>
委員長	<p>これについて少し補足をさせていただくと、そもそも書くにあたって前期の実施状況をAとかBとかのチェックをする。それを踏まえて書くという所がまずは訪問に行くまでの作業になりますよね。そして訪問に行かせていただいて、聞き取り調査とかアドバイス等をさせていただいた後に、後期に向けての取組の方策を書くということなので、本来であれば訪問調査が終わった後にどうしていいのかなと考えるためにということもあり、事務局では「～していく」「～する」という風に考えられたと思います。その一方、昨年取組んでみた結果、各園の先生方はやはり書く時間がなかなか取れないということもあって、アドバイスからすぐに書くのではなく1ヶ月とか2ヶ月経って、次に出す期日が迫っている中で記入され、結果的にこんなことをしたということで書いておられる園もあるので語尾が「～した」というようになっている園、クラスもあったと思います。そう考えた時に書くタイミングを両方どちらでもいいですよ</p>

	<p>ということで行くのか、それとも終わった後にできるだけ早い時期に後期に向けての取組の方策を書いて、どんな風にしていくかを園の中で考えてみてくださいという方向性で行くと、事務局が書いているように「～していく」「～する」という風に統一できると思います。委員の意見はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>語尾を「～していく」とするのは、継続的に取組むということで良いと思います。先ほどの話でギリギリに書くと後ろ向いて書いてしまうのはあるんですね。そんなこともあるけど語尾はこういう風にして取組むつもりで書いてという風に説明していただければいいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、事務局が説明する時に、基本としては訪問が終わった後に今後どうしていこうかとみんなで話し合っていたきたい、各先生方に検討していただきたいと。そのためにサンプルとしては「～していく」「～する」というような継続的な取組に向けてということで語尾は統一させていただきたいと思いますということを説明いただければと思います。ただ、現実問題としてそういう時間が取れなくて、結果的に「～した」になってしまっても責めるようなことではなくて、そのためにどう時間を捻出していったらいいかということなどを2回目の訪問の時に意識をして少しアドバイスできればと思います。</p> <p>次に、資料6 食育・アレルギー対応（案）については、昨年度の第3回会議に出ていたものと同じもので、確か検討したと思うので入れるということで終わります。</p> <p>次に、資料8 質問様式はこの様式でいかがでしょうか。事務局に現場の意見等いただきたいのですが、2回目の訪問調査に向けては①保育環境 ②言葉かけ ③保育方法という項目を分けて、どこに意識を向けるかというようにしてみたのですが、現場の先生方は、フリースタイルでの記入と項目があった方とどちらが書きやすかったのか、また、変更に戸惑いがあったか等、いかがでしたか。</p> <p>事務局</p> <p>第1回目は、質問が膨大な園と全くない園の差が大きかったのでそのあたりも難しかったです。第2回は、質問を具体的にして、それに合わせた場面を作ってくださいというように提案したので、訪問の短い時間の中に入りそうな質問内容にしてあり、その後の話が</p>

	<p>しやすかったとお聞きしていますので、具体的にした方が良かったと思います。ただ、①保育環境、②言葉かけ、③保育内容の観点があるのですが、そこを少なくした方がいいか、今まで通りがいいか教えていただきたいです。気になる幼児に関しては、一人20分から30分でクラスを分けたことで分かりやすくなったということをお聞きしていますので、前年度の記録にプラスして話ができるのではないかと考えています。</p>
委員長	<p>では、今の答えを踏まえて、まず1点目の保育内容についていかがでしょうか。</p>
委員	<p>絞るという手もありますが、各園で課題意識が違うのでこの3つでいいのではと思います。私はむしろ④でその他というのを入れてもいいのではないかと思います。どうしても①②③に当てはまりにくい時はその他でもいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>では、基本的に①②③のどれかにするのを前提としますが、どうしても当てはまらない場合は、④その他を加えるということで説明していただき、次の気になる幼児に関してご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>短い時間にたくさんの対応をさせていただくケースが多かったので、例えば、既に支援機関や相談機関がある、あるいはサポートファイルがある等「ある」「ない」の○をつけるような欄を作っただけだと、そこから話がスタートできたり次の段階の話に進めたりできるかなと思います。必要であればそれ以外に記入していただければと思います。1から全て聞き出そうと思うと時間がかかると昨年度は感じました。</p>
事務局	<p>あまりたくさん変更すると混乱されるかもしれませんので、手帳とサポートファイルの有り無しを昨年度の内容に足して作ってみます。</p>
委員長	<p>少しさかのぼりますが、資料3つまこども園提供の「正しい鉛筆が持てるようにするには」について意見交換をした方がよろしいですか。</p>

事務局	<p>この資料を出されたのは、今までは幼稚園で幼小の連携がうまくいっていた所がこども園になり、こども園側としては、小学校に歩み寄ってほしいなという気持ちも含めての所で、こども園の先生方はとても真面目なので鉛筆の持ち方の助言をもらおうと必死に「こう持つよ」と指導というようになってしまって、それは少し違うだろうと。「そういう所を少し意識すると変わりますよ」という位の視点が、受け止め方の面もあるのではないかと思います。そこが、このような資料になったのではと思います。ですので、学校や学校教育課とのつながり方ということもあるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>そのあたりに関しての意識が、こども園の先生方や小学校のつながりということで、今この委員間で「こういう風に伝えていく必要がある」と意見交換した方がいいのか、それとも行政としての取組の中で保幼小連携の機会ということを今後積極的にやっていく中で解決していく手立てを考えていかれるのかは、いかがな状況でしょうか。</p>
事務局	<p>小学校とのつながりは学校教育課のこともあるかと思います。ただ、訪問の助言の仕方等を協議した方がいいのかとも思います。担任の先生方は、直接アドバイスを受けるのは良いと思うのですが、園長先生の立場では0歳から5歳までの流れから全体的にはこうですという話を聞く方がスッキリするのかなと思います。</p>
委員長	<p>保幼小連携の視点で一步踏み出したような所があるのですが、今年度の方向性等を校長会等で検討されていることがありましたら教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>まず、訪問時にアサティブに話したつもりだったのですが、伝え方は難しいなと正直思いました。ただ、この文章を読ませていただくと単なる批判などではなくて、しっかりと考えておられる、研修を積み重ねられているのがよく分かる資料だと思います。だから、むしろこういうことを考えていただいていることは 小学校からするとありがたいことだと思います。それと、去年は校長を中心に行かせていただいたのですが、校長の中でも人事異動があり、今年度に活かせていない学校もあります。本来でしたらこの夏休みにそれぞれの校区のこども園や幼稚園に小学校から出向いて1時間程度、こども</p>



	<p>園はどんなことをしているのか、子どもはどんな状態なのかを全ての職員ができる限り観に行くという予定をしていたのですが、コロナの影響で夏休みも短くなりますし、こども園の方もどういう状況になっているか分からないので、ただ計画としては、できるだけ多くの職員が現場を観てくる、現場をしっかり捉えるという方向で、保幼小連携という形で進めていければという考えはもっています。</p>
委員長	<p>(3) その他 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>昨年度第3回委員会の時に自己評価報告書スケジュールで協議をいただいた広報紙の掲載を6月号と予定をしておりましたが、新型コロナの関係で今掲載しないといけない記事がありまして、1ヶ月変更し7月号で予定をしております。スケジュールが変わったことを御了承いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>確認ですが、今のところ7月は訪問するというスケジューリングでいますが、緊急事態宣言が一度解除されて、第2波がやってきた。そしてまた兵庫県が緊急事態宣言をこの7月のタイミングに出すということがあれば、事務局としてどのようにお考えかを教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>まだそこまで考えられていないのが現状ですが、緊急事態宣言が出た時に訪問をするのは厳しいと思います。子ども達が来ていなくても質問やアドバイスをいただくのは嬉しいと思うのですが、委員に来ていただくということはリスクが大きいので変更になると思います。</p>
委員長	<p>では今は想定として考えたので現実問題そのようなことが発生した時に、もう少し細かく議論する必要があると思いますが、基本的に緊急事態宣言が出ている間は訪問という形は部外者としてしない方がいい。その代わりにせつかく自己評価を出していただいて、1回目の訪問する予定だったところを例えば今のようなオンライン方式で園を結ぶという形等で先生方、園長先生、主任先生と意見交換をすることができる状況なのかというようなことを6月後半あたりに一度考えてみていただければと思います。今すぐに答えを出すのは</p>

	<p>難しいと思いますので、今後の現場訪問や、主任会でお話される中で、「もしこんなことが起こったらどうしましょう」ということは話を園にしておいてもらった方が、お互い心構えができるのではないかと思います。</p> <p>それでは、これで議事は終わらせていただきます。</p>
事務局	<p>4 次回開催予定</p> <p>瀧川委員長、委員の皆様ありがとうございました。先ほど言われましたように予定通りに行えるかどうかは、今後の動向を見ながらにはなりますが、次回の会議の予定は、8月31日（月）の午後3時から予定しております。前期の視察訪問を踏まえて各園の取組状況について御協議いただく予定ですのでよろしくお願いします。</p> <p>閉会の前に教育部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
部 長	<p>あいさつ</p>
事務局	<p>5 閉会</p> <p>今回初めてのリモート会議でしたが、無事終わられてほっとしております。</p> <p>以上をもって、本日の会議を終了します。</p>